



2020年2月 第2号
あすなろ担当：清水・黒潮ブロック

本年度も残りわずかとなりました。
今年は暖冬ですが、急に雪がちらついたり…と寒暖の差が激しく、新型コロナウイルスの影響も気になるところです。
今年度の締めくくりや、来年度に向けての準備もあり、私たちにとって一年で一番忙しい時期です。体調を崩さないよう、時には息抜きをしながら頑張りましょう！
では、あすなろ第2号をお届けします。

原稿作成にご協力していただいた方々、ありがとうございました。



土佐の教育実践表彰を、お二人の方が受賞されました！

コメントをいただきましたのでご紹介します。

今回の受賞を聞いたときは、私にはあまりにも大きすぎて信じられませんでした。
今まで先輩が教えてくれたことを周りの方々と一緒にしてきただけなのに、「おめでとう」と声をかけていただくたびに、申し訳ない気持ちになりました。きっと「もっとしっかり頑張りなさい」という意味だろうと今は受け止めています。
今までを振り返ってみると、私の周りには、どんなに落ち込んで自信を失いかけても、前を向き進んでいきっかけを与えてくれる人が必ずいました。今まで出会った方々への感謝の気持ちを、次に繋げていくことで伝えていきたいと思います。ありがとうございました。

四万十市学校事務支援室 主幹



今回このような賞をいただき、驚きと同時に大変恐縮しています。校長先生からお話を聞いた時も、何かの間違いではないかと信じられない気持ちでした。4月に異動したばかりで、十分な実践ができているわけでもなく、とまどいや申し訳ない思いではありますが、この賞を励みにこれからも子どもたちや学校、地域に求められる事務職員になれるよう、唯一の強み？でありますプラス思考でがんばっていきたいと思っています。今の自分があるのもたくさんのことを教えていただいた先輩方や同僚、刺激や活力をもらっている若い方達のおかげです。心から感謝しています。今後もよろしくお願いいたします。

黒潮町立入野小学校 主幹

今年度、総括主任になりました走川さんより
総括主任としての活動内容や想いについて
コメントをいただきました！



総括主任として

宿毛市立宿毛中学校 総括主任

過日12月6日、公立小学校事務職員研修（ステージⅣ指導）において、15分程度の報告をし、全4回にわたる研修をひととおり終えました。これまでを振り返ってみたいと思います。

今年度は、二つの立場を意識して取り組んでいます。普段は、学校に勤務する総括主任であることから、学校内では全力でチームの一員として仕事にあたること。その役割や職責を果たしていくために、これまでと同様、職場全体での対話やコミュニケーションを活発に行い、それをヒントに自らの業務の範囲を広げていきたい、との思いで職務に努めているところです。

もう一つは、宿毛市共同実施組織でのリーダー的役割について考えました。宿毛市は、離島1校を含めると小中合わせて14校あります。そのうち、事務職員未配置校が2校、臨時籍校が1校です。そこで、年度末より、宮本総括主任とともに、役割分担や業務内容の確認を重ねてきました。不安もありましたが、それ以上に期待を抱きつつ、可能な範囲、少しずつ取り組んでいる状況です。

【企画、そして提案すること】

今年度、宿毛市に3名の新規採用者がありました。東・中央・西と各地域における共同実施組織では、その育成支援のため、常に連携して取り組むこともたくさんあります。年間計画に基づく研修のほか、事務職同士の情報交換を充実させ、個々の職務能力の向上やレベルアップを目指す。地道に続けています。

4月より年間を通じて、新規採用者へのOJT研修は、各グループで共通した研修を実施しています。総括主任2名、その内容に対する資料の統一や研修を行ううえで、担当するリーダーを事前決定、研修時間設定の工夫による効率化を図りながら進めています。この研修は、新規採用者だけに限らず、事務職員全員参加型による組織としてOJT研修の意味もあります。宿毛市に勤務する事務職全体のレベルやスキルの向上もねらいの一つとしています。

【教職員・福利課による学校訪問】

今年度の訪問が宿毛市だけだったことは、後になって知りました。今回の訪問が決まったとき、新規採用者の一人に、真っ先に話したことは、それは、... 経験年数問わず、事務処理すべてを個人で完璧に進めていくことは難しいことですが、これまでの自身の経験を、今後の仕事に活かすための大きなチャンスだと考えて臨んでくださいと話しました。当日の緊張した様子は、これまでに経験のある方には分かると思います。勤務校での日々の自己研修や他職との連携、共同実施組織による研修等を通じ、個人としての成長や自信が、その表情や言葉によく表れていたことが印象的でした。

【業務改善、教員の働き方改革】

四万十市事務支援室より「部活動支援ツール」の提供を受けたのが昨年度の1月頃だったと記憶しています。その充実さや完成度の高さに驚き、圧倒させられました。すぐにでも宿毛市で浸透させ、業務改善できる手段にしたい思いに駆られ、提供をいただいて間もなく、中学校籍の事務職員と話し合いました。いくつかハードルがありましたが、今年度4月から一斉導入ができ、現在に至ります。部活動ガイドラインとこのツールによる効果は、業務改善はもとより、教員に対する働き方改革に一役買った格好にもなっています。先日の研修では、特に、声を大にして報告してきました。

平成初期（四年度）に採用され、今では、年号も「令和」に変わりました。学校も仕事上の役割もどんどん変化し続けています。以前は考えもつかなかったことが起きているのも事実です。それが何であるかは、ご想像にお任せします。これからさらに期待できるもの、そして改革できるもの、一個人としてではなく「ONE-TEAM」で、みなさんとともに、懸命に、前向きに取り組んでいきたいと思えます。



黒潮町の取り組みを教えてくださいました！



2019「チーム黒潮」より

「学校事務支援室」の2年目

黒潮町に「学校事務支援室」が設置されて2年が過ぎようとしています。昨年度に引き続き、働き方改革の視点で業務改善をしたり、各校事務職員の業務分担を見直すなどの取り組みを進めています。

下にも少し紹介していますが、今年度黒潮町では若年事務職員のみなさんが色々な場面で活躍してくれました。

各研修会の講師を担当したり、毎年恒例の夏期研修会のプレゼン作成に取り組んだり等々、それぞれの研修会に参加した方々にも「要点を押さえた発表でよかった」「分かりやすかった」と好評でした。

これからも「**チーム黒潮**」を合言葉に、（年齢に関係なく!!）**全員で取り組んでいきます**。

夏期研修会プレゼン発表

恒例となった町教研夏期研修会で、町内全教職員に向けて事務部会からのプレゼン発表をしました。

今回は、若手メンバーが中心となりプレゼンを制作、

「あなたは大丈夫!? 自分の行動を振り返ってみましょう」のテーマで、先生自身に普段の行動や日々の事務処理の中で、ついありがちな気をつけてほしい事を取り上げ発表しました。

若手メンバー
活躍中!!



事務部会の講師招聘

8/27 愛知教育准教授 をお招きし、

「チーム学校を担う事務職員になるために
～教育支援専門職養成課程が目指す事務職員像から考える～」
というテーマで講演していただきました。

（2月の冬季研の講演でもお招きする予定です）

2年次訪問研修・初任者教員研修

郡内の2年次訪問研修では、若手（4年、5年次）コンビが講師役を担当。経験年数の近い先輩からの研修で身近に感じてもらえたと思います。

町内の初任者教員研修も支援室と一緒に若手コンビが担当しました。

「虎の巻 黒潮町事務の手引」作成

黒潮町独自の事務手続きをデータ資料として作成しました。町外からの転入事務職員にとって参考になると思います。



業務改善検討委員会

昨年度に引き続き、教育委員会と業務改善に向けた話し合いの場を持っています。

規則規程の改正や事務手続きの簡素化など、学校側の要望を出し、業務改善を進めています。

他にも支援室を中心に、「チーム黒潮」で取り組んでいます

